Peace Quest2016 Autumn-Winter
～Reach Out[手を伸ばす,差し伸べる.]～
実施報告書

Dec. 2016

一般社団法人　SPUTNIK INTERNATIONAL

◆明けましておめでとうございます

平素は SPUTNIK International に多大なご支援を頂き、ありがとうございます。心よりの感謝を込めて御礼申し上げます。

さて、皆様のご協力の下、第 26 回目となるチャリティ・コンサート「Peace Quest2016 Autumn-Winter」を成功裏に終えることができました。 ここに概要を記し、報告とさせていただきます。
まだまだ至らぬ点も多くございますが、本年も、私共 SPUTNIK International へのご指導、お力添えのほど、
よろしくお願いいたします。

◆イベント概要

今年のPeace Questのテーマ、そして2016年の私たちの活動の合言葉は **Reach Out[手を伸ばす,差し伸べる.]**でした。

みなさんに17年間応援して頂いているからこそ、現状に満足せず、いろいろな事にチャレンジする向上心を持ち続けたい。
同時に、決して独りよがりにならず、周囲の、そして世界中の困難に在る人々と心を通わせ、寄り添う事を大切にしたい。
「どうせ届かない」と諦めない。
「辛すぎるから」と目を背けない。
全力で、そして笑顔で、手を伸ばす、差し伸べる。
日本中から、そして世界中から、時に心が挫けそうになるニュースが伝えられる中、「諦めない、目を背けない」という決意を胸に抱きながらスタッフ一同で準備に臨み、第26回目となるPeace Quest2016 Autumn-Winterに皆さまをお迎えしました。

今回のコンサートは・・
スリランカの伝統舞踊、キャンディアンダンスで幕をあけました。
古くから伝えられている宮廷舞踊、神聖なものへ捧げる祈りや、スリランカ各地に伝わる物語などをゆったりと優雅な動きで表現するキャンディアンダンスは、今日のスリランカでもさまざまな儀式の中で大切にされています。日本で学び、暮らす二人のスリランカ人、タルーとダムルワンが、このチャリティコンサートのお祝いにと、心を込めて踊ってくれました。

今回の司会は、スリランカ人を父に、日本人を母に持ち日本で育ったSPUTNIK の学生スタッフ、市川 真幸良(いちかわ まゆり)。日本に暮し、日本語が堪能でアウトドア、アメフト観戦が好きなとても活発な彼女ですが、オープニングのダンスに続き、伝統衣装サリーをまとってステージに現れたその姿は、とても淑やかなスリランカ女性。初司会の大役を、終始立派につとめました。
　創設理事、秋沢淳子の挨拶に続き、秋沢と共にSPUTNIK Internationalを立ち上げた、もう一人の創設理事、エシャンタ・アーリアダーサからのビデオメッセージが披露されました。最新の現地の様子、来年予定されている日本語学校の教室棟増設について、感謝を込めて力強く述べました。 ビデオの途中では今回スリランカから来日し会場に居た日本語教師の佐川広人を自らサプライズ紹介する場面もありました。

続くステージは、ヴァイオリニスト、増田太郎さんによるミニコンサート。20歳の時に視力を失われた増田太郎さんのステージは、まず“リサーチ”から始まりました。増田さんの発する楽しい質問に拍手で応えているうちに、会場の雰囲気はすっかり和やかに。続いて、クラシック以外の楽曲ばかりか、ドラマやCMで耳にするヴァイオリン、そして、あんな音、こんな声までヴァイオリンで表現。“ヴァイオリンといえばクラシック”、“楽器の中の楽器”など、なかなか身近には感じにくいヴァイオリンのイメージが一新されたところで、自身のオリジナル楽曲を、ヴァイオリン演奏とご自身の歌で。
クライマックスでは、まもなく発生から6年目を迎える東日本大震災の被災地の復興と、被災された人々の未来に向けて、ご自身の心を大きく拡げて包み込むようにヴァイオリン奏で、歌う増田さんと、それに聴き入り、大きな拍手を送るお客様が、PeaceQuestにとても素敵な時間をつくって下さいました。

休憩後のオークションでは、
出品商品の紹介や落札者の方へのインタビューなどに、若いSPUTNIK スタッフたちが大活躍。 協力企業・個人から頂戴した素敵な商品に、お客様から沢山の手が上がりました。

最後は、やっぱりこの方々、社会貢献バンド XQ's とヴォーカルPekoさんのパワフルなパフォーマンス。Peace Questでだけ楽しめる、XQ's ヴォーカルMasaさんとPekoさんとの競演に、私たちスタッフもお客様もすっかり魅了されました。

フィナーレは、スリランカの子どもたち、若者たちの写真をバックに、ステージ、観客席一体になってWe are the worldを歌い、幕となりました。

ホワイエでは、スリランカ、ガーナでの活動紹介パネル展示、スリランカ、ガーナ物産のチャリティ販売を行いました。
SPUTNIK カフェのスリランカ・フード～今回は、中野のレストラン「アチャラナータ」、ココア、紅茶をお楽しみ頂き、みなさまに、ひととき、異文化体験や国際交流の楽しさを感じていただきました。

ご協賛いただきました皆様、ご来場、ご出演いただいた皆様、イベントに携わった多くのボランティアスタッフの皆様のおかげで、バラエティーに富んだ、楽しく、活気あるコンサートであったことを、心からの感謝とともにご報告させて頂きます。

今回得られた収益は・・・

- 東日本大震災で被災した方への支援
- SPUTNIK国際教育文化交流会館の維持、2016年度の常駐日本語教師支援、染め工房スタッフ支援
- SPUTNIK Girls Homeの孤児達の支援
- NPO法人グリーンバード協同プロジェクトであるスリランカでのゴミ拾い支援
- スリランカ、クルネガラにある高校に通う生活困難家庭の優秀な生徒への奨学金（20名）
- （公財)AFS日本協会と共同で行っているスリランカ高校生の『日本への1年間留学』支援
- その他、スリランカでの活動で必要と思われる事案

に対し使われます。
SPUTNIK International Japan, Sri-Lanka, & Ghana。我々の地道な活動が、必ず世界平和へ通じる道だと信じております。

◆実施概要

主催: 一般社団法人SPUTNIK International 及びSPUTNIK International Organization Sri Lanka
特別協力:原宿クエストホール
後 援:スリランカ大使館 /AFS日本協会 / 人間力開発協会 / リベラルアーツ推進協議会 /greenbird / BILLy Promotion
協 賛:BEAMS/生活の木 /星河 / ミキジ / シロノクリニック/クーインターナショナル / 英治出版 /
ユーエムイー/ グランドデザイン/ 麻布サイコ& カウンセリングクリニック/ 矢東タイヤ
協 力 : ドクターシーラボ / 西日本陶器 / ピアザエコファームカフェ 632 /美容室 BILLy /葉山パッパニーニョ /
双子のライオン堂/ 日本カバヤ・オハヨーホールディングス / ハッピーブックプロジェクト [順不同]
日時:2016年12月18日（日） 開場 ホワイエバザール 12:00～ コンサート開演 14:00～
会場:原宿クエストホール［東京都渋谷区神宮前1-13-14］
会費: 一般2,500（前売 2,000）円、在日外国人及び学生1,500 （前売1,000）円 ホワイエバザールのみ:無料
入場者数: コンサートとホワイエバザール合わせて 約230名

内容:

・プレゼンテーション: SPUTNIK International Sri Lankaからのメッセージ、
・チャリティーコンサート:
ヴァイオリニスト 増田太郎、 社会貢献バンド XQ's
スリランカ伝統舞踊 Tharu Ranasinghe & Damruwan Osanda （オープニング）
・チャリティオークション
・ホワイエバザール
スリランカ 染め工房プロジェクトの紅茶・草木染め製品の販売、スリランカ、ガーナ他各国物品、スリランカ・テキスタイルプロジェクト、竹浪 明(Sri Lanka写真集)、
・スリランカ、ガーナ、活動紹介パネル展示、古本寄付受付（ハッピーブックプロジェクト）、そろばん、文房具寄付受付

◆出演者プロフィール

ヴァイオリニスト　増田　太郎　（ますだ　たろう）

「こんな時代だけど、こんな時代だからこそ、希望を高らかに奏でていきたい」

5 歳よりヴァイオリンを始め、20 歳で視力を失うが、《ヴァイオリンを弾きながら歌う》という独自のスタイルで音楽活動を展開。
その生命力あふれる演奏が、フジ TV《とくダネ!》BS フジドキュメント、ヒストリーチャンネルをはじめ、新聞各紙に取り上げられる。
楽曲《雲》が NHK《みんなのうた》で放送されたほか、ヴァイオリニストとして、森山直太朗さんの楽曲《手紙》（シングル「さくら独唱」カップリング曲）や様々なアーティストのレコーディング、コンサート、楽曲提供、ゲーム音楽など、多数のプロジェクトに参加。
2009 年、ニューヨークセントラルパークにて開催「JAPAN DAY」、2011 年秋、NY ハーレムのゴスペルクワイヤーのステージにフィーチャリングアーティストとして招かれる。東日本大震災発生直後、楽曲《希望の景色》を発表。避難所や被災地などで多数演奏。
2012 年、ヴァイオリンアルバム《希望の景色》発表。同アルバム収録楽曲《Waltz Noir（ワルツノワール）》がテレビ東京《美の巨人たち》 エンディングテーマとして、《パッセのワルツ》が NHK BS プレミアム《世界ワンワンドキュ》挿入曲として放送。林真理子さん直木賞受賞作小西真奈美さん朗読のオーディオブック《京都まで》の音楽制作とヴァイオリン演奏を担当。
2013 年、味の素スタジアムで開催された《スポーツ祭東京 2013》（国体・障害者スポーツ大会）開会式にて、ヴァイオリン・ソロとミニコンサート、児童合唱とともに、震災復興ソング《花は咲く》を演奏。
2016 年　補助犬、保護犬チャリティイベント、環境省・TBS・TOKYO FM 共催「GTF グリーンチャレンジデー」オープニングほか演奏。
CD《希望の景色》、《カラフルモメント～いろんな色の毎日がぼくらの背中を強くしてくれる～》、著書にエッセイ《毎日が歌ってる》（すばる舎）がある。 増田太郎ホームページ：http://tarowave.com

スリランカ舞踊　Tharu Ranasinghe & Damruwan Osanda
（タルー・ラナシンハ & ダムルワン オサンダ）

スリランカ伝統舞踊、キャンディアンダンスを踊るダンスユニット。
今年の3月に立教大学の観光学部を卒業したタルーと、同じくスリランカ出身で日本で働くダムルワンの2人で活動をはじめて約3年。
昨年 10 月に開催した SPUTNIK International ハロウィーンパーティーで披露されたタルーの舞いは好評を博し、多くの方を魅了しました。

社会貢献バンド　XQ's （エクスキューズ）

ソーシャルレスポンシビリティーな生き方を理想とするメンバーで構成されている、社会貢献バンド「XQ' s」。
バンド理念は、「BSR」=(Band Social Responsibility バンド活動による社会貢献)
メンバーそれぞれの音楽嗜好性は、ロック、フュージョン、ファンク、ソウル、ヘヴィメタル、と多種多様。
異なる音楽嗜好でも、社会のお役に立ちたく、お互いの違いを尊重し合いながら、年齢をまったく気にせず活き活きと活動している。

＜メンバー紹介＞

【vocal】豊島智子(Peko)

東京生まれ。14 才でロックコンテストにて最優秀ボーカリスト賞を獲得。以来スタジオシンガーとして数々の CM、ドラマ、アニメイメージソング等を歌う。その後田辺エージェンシーに所属"3 人組"という女性 3 人グループで東芝 EMI よ りデビュー。テレビ・ラジオレギュラー多数をつとめる。
解散後パブリックイメージに所属し作詞家として荻野目洋子、C. Cガールズ、など多数 アーチストに提供。ボイストレーナーとして松嶋奈々子など多数プロ歌手を指導。
ガイドレコーディングシンガー、バックシンガーとして観月ありさ、荻野目洋子、大西結花などのレコーディングやライブに参加。
94 年オーストリア・ウイーン に渡る。
95 年ヨーロッパ最大のロック コンテスト"POPODROM"に Schockschwerenot と言うドイツ語、英語、日本語のラップと歌のバンドにて出場。4 カ国 100 バンド以上参加した中から優勝。以来、オーストリアを中心にドイツ、スイスなどでライブ活動を行う。
1999 年より 2003 年までヨーロッパ最大の音楽フェスティバル"ドナウ・インセル・フェスティバルにソロボーカルのバンド"PEKOLOMANIA"として連続出演。ファンクラブには多くのファンを集める。
2004 年帰国後、スタジオ、ライブシンガーとして活動を再開するとともに、日本人のメンバーと PekolomaniaJapan を 結成。
2015 年 2 月 14 日、原宿クロコダイルにて、長年企画をあたためていた「"The Rose"サウンドトラック・コンプリートライブ」を敢行、エネルギッシュな歌唱で満員の観客を魅了。抜群の歌唱力と魅力的な甘い声を持つ、ビジュアル系(？)ヴォーカリスト。

【vocal】Masa (南 雅章)

日本一 歌唱力あるペンキ屋さんから、日本一 歌唱力あるラーメン屋さんにこのたび転身。歌い手として様々な場所で歌い、楽しく歌えることをモットーに、歌謡曲から Jazz、Funk、ハードロックと幅広いジャンルを歌いこなす歌唄い。

【bass】田中　淳

安定したリズムを刻む、バンドのリズムセッションの要。ニヒルなベーシスト

【drums】太田久士

横浜ビール 社長。こだわりの地ビール「横浜ビール」のごとく、心に響き沁みるドラミングが魅力

【guitar】

山本拓己

オクタ 社長。世界一 LOHAS なリフォーム会社を経営。頼れるバンドマスター

大川哲郎

大川印刷 社長。創業 131 年のソーシャルプリンティングカンパニー経営。スライドギターは天下一品

井手　敏和

LBA(ロハスビジネスアライアンス) 代表　歳を感じさせない年齢不詳の湘南ボーイ。

重永　忠

生活の木、Tree of Life 社長。ヘヴィメタル・阪神タイガースをこよなく愛す、地味な努力家ギタリスト

【keyboard】入木 啓作

新宿の音楽スタジオ MUSIC MAN オーナー。Key を弾いているが、ほんとは Herbie Hancock 好きの Jazz Pianist！

◆収支報告

●収入の部

協賛金		¥680,000
チケット		¥223,500
オークション		¥85,800
売上	物販(ぞうさんペーパー、紅茶、ココア他)	¥48,481
寄付		¥73,169
合計		**¥1,110,950**

●支出の部

音響・照明	会場使用費含む	¥245,600
仕入れ	物販(バーカウンター用飲料他)	¥23,442
運営・制作費・謝礼	運営及びチラシ・パンフレット他	¥133,572
飲食費(スタッフ弁当代)		¥30,000
雑費		¥7,520
合計		**¥440,134**

総合計　　収入　**¥1,110,950**　ー支出　**¥440,134**　＝収益　**¥670,816**　　※左記は概算です。

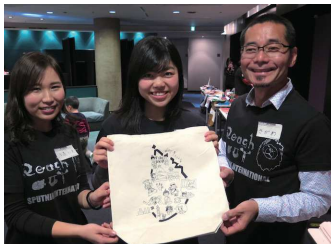
今回のコンサートの収益金(¥670,816) は全て前述の目的資金用途に使わせていただきます。
本当に皆様ありがとうございました。
今後とも、目に見える支援をモットーに、私達にできることを無理せず、笑顔で、前向きに進めていきたいと考えています。活動につきましては今後も Facebook ページ、ホームページで随時お知らせしてまいりますので、ご覧いただければ幸いです。

Facebook ページ:https://www.facebook.com/SPUTNIKinternational/
ホームページ:　http://sputnik-international.jp/

今後とも、一般社団法人 SPUTNIK　International への応援、宜しくお願いいたします。

一般社団法人 SPUTNIK International　一同

Charity Concert PEACE QUEST 2016 autumn-winter



左から右へ（敬称略）
1列目：テーマ「Reach Out」／司会／創設理事：秋沢淳子／同：エシャンタ・アーリヤダーサ
2列目：タルー＆ダムルワンによるスリランカ伝統舞踊キャンディアンダンス／同左／同左／秋沢淳子と増田太郎
3列目：ヴァイオリニスト増田太郎／同左／同左／同左
4列目： 会場内ホワイエにて／同左／同左／同左
5列目：チャリティーオークション／ご協賛頂いた商品／同左／同左
6列目：社会貢献バンド　XQ’s／ボーカル Masa／ボーカル Peko／ギターリスト重永忠／キーボート入木啓作
7列目：社会貢献バンド　XQ’s／お土産に喜んで頂いたお客様／みんなで合唱「We are the World」／スタッフ全員集合

SPUTNIK
INTERNATIONAL
www.sputnik-internationai.jp

スプートニク・スリランカをご支援くださる皆様へ

いつも、温かいご支援をありがとうございます。

現在、スリランカのスプートニク・ガールズホームでは、20 名の子どもたちが元気に生活しております。

下は小学 2 年生のアーカーシャから、上は O/L（高校受験）をする中学 6 年生、ファーティマ、スレーカ、マルキの3人まで。

また子供たちをサポートしているスタッフは 6 人です。寮母のインドラアンマ、彼女の献身的な支援なくしては今の子供たちの姿はなかったです。料理番のキリアンマ、ここの卒園生の二メーシャ。そして、農作業、庭仕事、牛の世話に、3 人のアンクルが活躍してくれています。

今年は O/L を 3 人が受けます。ここまで過去 3 年、残念ながらまだ合格者が出ていない状況です。今年は、9 月くらいから数学の先生を引き受けてくださった方がいて、週に 2，3 回教えにきてくれています。

また、子供たちの通う学校の校長先生も全面的にバックアップしてくれていて、受験者には、10 月から週に 2，3 回ナイトクラス（19 時から 22 時まで）を行ってくれています。

こんなに多くの方にご支援を頂いているので、今年こそは合格者が出てほしいものです。

皆様、今後とも子どもたちの生活を、そして教育を見守っていただければ幸いです。
これからもご支援ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。
それでは、よい年をお迎えください。

2016 年 12 月　吉日

SPUTNIK International Sri Lanka Organization

一般社団法人　SPUTNIK International Japan

写真

前列　向かって右から

イシャーリ、ニサンサラ、ドゥルガーニ、チェータナ、アーカーシャ、デウミニ、ディーパーニ、シャーミ（カウシャリヤー）、

後列　向かって右から

シャーニカ、マルキ、ロクサチニ（二メーシ）、ワーサナ、ランギカ、ディヌーシャ、インドラアンマ、キリアンマ、スレーカ、クマーリ、サチニ、アヌラーダ、ガヤットリー、ファーティマ

一般社団法人 SPUTNIK International [法人番号 0199-05-014486]
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5 丁目 12-12 2F
【2F 5-12-12 Jingumae Shibuya-ku Tokyo, JAPAN】
info@sputnik-internationai.jp